

| | | | | | | | |
|---|--|-----|-----|---------|---------------------------------|-------|------------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 臨地実習Ⅲ(公衆栄養学) (IB384) | | | 担当教員 | 野村秀一・水江文香・松尾嘉代子 川野香織・宮原恵子 | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1単位 | 開講年次・時期 | 3年～4年 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ ラーニング の類型 |
| 臨地実習は、学内の公衆衛生学、公衆栄養学、栄養教育論、ライフステージの栄養学等の講義・実習で修得した成果を、社会で活かす実践トレーニングの第一歩である。臨地実習は、保健所、保健センターで、実際に業務を体験し、管理栄養士としての技術を体得することを目的とする。 | | | | | | | ⑪⑫ |
| ホスピタリティ を構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 公衆栄養活動に必要な知識・技術・資質に気づき、管理栄養士の責務としてそれらの必要性が理解できる。 管理栄養士業務を体験する中で、修得した知識および技術の活用について説明できる。 管理栄養士の職務を体験し、社会的な役割および責任に関して、説明できる。 | | | | ・実習先からの評価 ・課題への取り組み | 20% | 10% |
| 情報収集、 分析力 | 地域社会の健康・栄養問題および関連要因の把握、課題分析を行うことができる。 | | | | ・課題への取り組み | 20% | |
| コミュニケーション力 | 臨地実習施設および学内実習担当者、グループへの報告・連絡・相談事項を類別し、状況に応じた対応ができる。 | | | | ・実習先からの評価 ・実習報告 | 10% | 10% |
| 協働・課題解決力 | 管理栄養士として実習目的を理解し、的確な業務的判断ができる。 管理栄養士の職務に基づいて、自らの課題やその改善点等を導き出すことができる。 | | | | ・実習先からの評価 ・課題への取り組み ・実習報告 | 10% | 5% 5% |
| 多様性理解力 | 管理栄養士として、対象者の多様なニーズや立場を理解し、実習にに取り組むことができる。 | | | | ・実習先からの評価 | 10% | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実習先からの評価(50%)：評価票の記載内容等 ・課題への取り組み(35%)：課題取り組みへの態度等(課題証明書で確認) ・実習報告(15%)：書類の提出、施設訪問時の状況、臨地実習ノート等。実習ノートはフィードバックする。 | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学外実習を履修するにあたり、必要な科目を習得した者あるいは履修可能であると判断された者を対象とし、実習期間を1週間とし、保健所、保健センターにおいて実習を行う。 ・施設での業務体験を通して、課題解決型学習に取り組む。 ・課題内容の指示やグループでの課題の取組みには、ポートフォリオを利用する。 <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p> | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| <p>教科書：栄養士必携 社団法人 日本栄養士会編(第一出版)、本学教員作成の臨地実習ノートおよびプリントなど</p> <p>参考書：各科目教科書および参考書など</p> <p>指定図書：栄養士必携 社団法人 日本栄養士会編(第一出版)(特に法律の記載ページ)</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 自ら課題を発見し意欲的、積極的な態度で実習に臨み、社会的常識に則った行動をすること。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|-------|-----------------------------|--|
| 1 | 公衆栄養学 | 公衆衛生の概念 | 予習：公衆衛生・公衆栄養の意義 復習：実習内容 |
| 2 | 公衆栄養学 | 公衆衛生における行政システムと各行政の役割 | 予習：保健所・市町村保健センターの管理栄養士の役割と業務内容 復習：実習内容 |
| 3 | 公衆栄養学 | 地域保健にかかわる主な法律 | 予習：地域保健法を中心に、公衆栄養を遂行するための各種法律 復習：実習内容 |
| 4 | 公衆栄養学 | 県・中核市・市町における栄養改善事業の違いと連携調整 | 予習：行政と地域・学校・企業の連携による栄養改善の状況 復習：実習内容 |
| 5 | 公衆栄養学 | 施設先の組織および機構・業務 | 予習：実習施設の組織・機構 復習：実習内容 |
| 6 | 公衆栄養学 | 各保健所管内の「各種報告書」から地域性と疾病構造の分析 | 予習：実習先の産業構造・地域の特性 復習：実習内容 |
| 7 | 公衆栄養学 | 特定健康診査の実際 | 予習：特定健康診査結果の階層化やメタボリックシンドロームの診断基準 復習：実習内容 |
| 8 | 公衆栄養学 | 栄養改善業務に関する企画・調整 | 予習：行政栄養士として地域性と関連ある栄養改善業務の企画 復習：実習内容 |
| 9 | 公衆栄養学 | 特定保健指導の実際 | 予習：行動科学理論に則った保健指導のあり方 復習：実習内容 |
| 10 | 公衆栄養学 | 特定保健指導時の集団指導（プレゼンテーション） | 予習：集団指導の準備 復習：実習内容 |
| 11 | 公衆栄養学 | ライフステージごとの健康教育 | 予習：市町における健康教室の開催とその重要性 復習：実習内容 |
| 12 | 公衆栄養学 | 特定給食施設への栄養管理指導 | 予習：給食施設の形態による管理指導の重点項目 復習：実習内容 |
| 13 | 公衆栄養学 | 難病患者のための支援体制 | 予習：難病の種類、難病患者への支援の状況 復習：実習内容 |
| 14 | 公衆栄養学 | 実習施設における1次予防の整備 | 予習：行政における1次予防の具体的内容 復習：実習内容 |
| 15 | 公衆栄養学 | 施設課題のまとめ | 予習：実習中の課題 復習：課題のまとめ |
| 16 | 事後指導 | 報告書の作成 | 予習：実習内容のまとめ 復習：実習で得られた課題の取り組み |